

令和2年度2学年 総合的な探究の時間「SS・SG探究」について

概要 「SS探究」と「SG探究の時間」を統合し、「SS・SG探究」として探究活動を行う。1年次でのSS・SGでの探究活動をふまえ、より深い探究活動に取り組むことをめざす。

方法 分野を選択 グループの調整(分割や統合)をする。
担当する教員と場所を割り当て、探究活動を実施する。
中間発表会(9月)を経て、ポスター・論文作成

1年次との違い:

- 探究活動には、SSとSGの両方の視点を意識する。
- ネット情報のみは不可。文献調査・アンケート・フィールドワーク・インタビューなどにより実際の調査、分析をとりいれる。
- ビジネスモデル(価値の創造とその提供のしくみ)を意識してまとめる。

日程

	日程		担当者	場所
1	6/16(火)	探究活動ガイダンス (1) 分野別テーマの設定 (2) 調査研究方法の紹介 (3) 分野の希望調査提出 (×切6/19 金)	担任	HRごと教室
2	6/23(火)	探究活動	担任	HRごと教室
3	6/30(火)	探究活動 (グループの顔合わせ)	担当教員 (後日発表)	指定場所 (後日発表)
4	7/14(火)	探究活動 (研究方法計画立案)	担当教員	指定場所
5	7/21(火)	探究活動 研究方法計画表提出	担当教員	指定場所
6	7/28(火)	探究活動	担当教員	指定場所
夏休み フィールドワーク・アンケート調査など				
7	9/1(火)	探究活動 中間発表準備	担当教員	指定場所
8	9/8(火)	中間発表会(グループ内発表)	担当教員	指定場所
9	9/15(火)	探究活動 論文・ポスター作成	担当教員	指定場所
10	10/6(火)	探究活動 論文・ポスター作成	担当教員	指定場所
11	10/13(火)	探究活動 論文・ポスター作成	担当教員	指定場所
12	10/27(火)	探究活動 論文・ポスター作成	担当教員	指定場所
13	11/10(火)	発表会 (代表選出)	担当教員	指定場所
冬休み				
14	1/12(火)	成果発表会準備・質問やりとり	担当教員	指定場所
15	1/19(火)	成果発表会準備・質問やりとり	担当教員	指定場所
16	2/6(土)	SSH・SGH成果発表会		

グループ数は24班(担当教員は2年正副担任(21名)+探求学習部教員(3名))

6月16日(火) 探究活動ガイダンス

【1】1年生で学んだこと

1年生の時に、SSH論文、SGHモデル研究、SG探究 を実施しました。
探究学習として、以下のことを実施しました。

(1) キーワードからテーマの設定	(5) 仮説を立てる
(2) 情報収集	(6) 仮説を検証する (実地調査)
(3) 「問い」をたてる	(7) ポスターにまとめる。論文にまとめる。
(4) リサーチクエスチョンをたてる	(8) プレゼンテーション

2年生の探究学習では、昨年できなかった「実地調査」を実施し、実際に検証して研究をより深めることを目的とします。

【2】2年生の探究学習で行うこと

(1) 上記(1)～(8) までを配布された「課題研究メソッド」活用(記入)しながら進める。

(2) 調査の方法 【課題研究メソッド p.66、および終章を参考のこと】

文献調査・・・インターネットだけでなく、図書館の文献にあたること

実地調査・・・フィールドワーク、アンケート、インタビュー

インターネットにせよ、本や新聞にせよ、文献調査だけだと、単なる調べ学習になってしまいます。2年生では、実際に、フィールドワーク、アンケート、インタビュー等の活動を通して、生の声を収集し、そこからどんなことが導き出せるか、分析、考察します。

(3) 夏休みに調査ができるテーマを選びましょう。

実際に自分のテーマでどんな調査が可能かを考えてみましょう。国内の課題のほうが調査しやすいかもしれませんが、調査は夏休みに実施します。

例えば、昨年度のフィールドワークは次のような人を対象にフィールドワーク・インタビューが実施されました。 蕨の公民館で難民支援の日本語教室でボランティアの人、クルド難民の人、クルドの子供たち、ベトナム人技能労働者を支援しているNPOの人、東京ジャーミー(東京代々木にあるモスク)でイスラム教徒の人、イスラム教徒を支援している職員、北浦和の国際交流基金センターで外国人に日本語を教えている職員など

またアンケート調査では、ジェンダーについて一女生を含む近隣の高校生に意識調査のアンケートをとったグループもありました。

JICA 地球ひろば(東京)などは高校生の訪問を受け入れてくれるイベントも実施しています。日時を予約してから訪問します。

(4) グループ研究でも個人研究でも可

6月30日に、テーマ別のグループに分かれて探究活動を実施します。探究活動は2～4人程度の班(チーム)を組んでもよし、個人研究でもかまいません。

本日（6月16日）の活動

○1年次の活動を振り返ろう

(1) SG モデル研究で行ったことを思い出しましょう。

私が選んだチェンジメーカー
どんなことをした どんな人

(2) SG 課題研究

私が選んだ分野
私が選んだテーマ

(3) SS 探究

私が選んだ分野
私が選んだテーマ

○ 所属するグループの希望を考えよう

2年生の探究活動は、SSとSGが統合されています。人文学的な内容や科学的な内容のどちらかだけの探究ではありません。SDGsで掲げられているテーマを軸にして探究を行いますが、課題を解決する方策へのアプローチは、人文学的、科学的のどちらも含むように心がけます。

探究活動を行うにあたって、グループに分かれます。このグループは、クラス内の班ではありません。クラスを超えて、問題意識や興味を同じ分野にもつ人の集まりをつくります。グループ内で、班（チーム）をつくって探究活動を行ってもよいし、個人での探究も構いません。

上に書いた、昨年の活動を振り返って、自分が興味を持つ分野は、どこか考えましょう。1年次の活動を継続・発展させることを考えてもよいし、1年次の活動から気が付いた、新たな分野を中心に据えるのもよいでしょう。

希望するグループを3つ選択し、1～3の希望順位をつけてください。

希望順位	番号	グループ名
第1希望		
第2希望		
第3希望		

上記の希望は、6月19日(金)までに、Google Classroomに用意されるフォームに入力してください。希望をもとに所属グループを調整・決定します。希望人数等の関係で、希望通りにならないこともあります。全体の調整に影響しますので、フォームの入力期限は、必ず守りましょう。

- 「課題研究メソッド Start Book」4 ページから 11 ページを読もう
- ・ SDGs をヒントにする際に、心がけたいことを 2 つ抜きだそう (5 ページ)

- ・ 課題研究のステップと日程を照らし合わせてみよう
- ・ 課題研究で気を付けることは何か、 2 点 箇条書きにしよう

- ・ 記録を付ける理由を 3 点 箇条書きにしよう

- 「課題研究メソッド Start Book」12 ページから 19 ページを読もう
- ・ 13 ページの Task 1 を考えてみよう (15 ページ以降の MISSOIN は、できるときにやる)

- 一女図書館からの資料を読もう
- ・ 紹介されている検索システムなどにアクセスしてみよう (任意)

- 「課題研究メソッド Start Book」66 ページ、82 ページから 85 ページを読もう

今回の課題研究では、基本的に「実験」は行いません (必要がある場合には、実施可能)。探究テーマとした課題解決のために、科学の観点からも検討しますが、自分たちの行う実験で検証・実証するのではなく、研究者らによるこれまでの研究成果を利用して、検討・考察していきます (文献調査が中心になる)。

「情報メモ」は、探究活動を進めていく際に、活用してください。

探究の時間等に配布された資料などは、ポートフォリオ用のクリアファイルに保存するなど、散逸しないようにしましょう。

第 3 回の 6 月 30 日には、グループでの活動になります。自己紹介をします。そのための準備を第 2 回の 6 月 23 日に行います。1 年次の活動のまとめや探究活動で行うと考えていることなどをまとめます。必要な資料等の準備をしておいてください。23 日当日になっての図書館の利用はできない予定です (必要な図書は事前に借りておく)。